

第2次奥州市地域福祉活動計画 体系図



推進目標

推進テーマ

具体的な取組み

5 誰もが安心して生活できる仕組みをつくること

5 (1) 誰もが相談しやすい窓口を整備していこう
5 (2) 住民が主体的に地域課題を把握して解決する体制づくりをめざそう

5 (1) ①各相談機関等との連携と相談窓口の体制づくり
5 (1) ②総合的な相談支援体制づくり
5 (2) ①声かけ運動
5 (2) ②住民の主体的な地域課題解決を支援する「福祉の専門職」の設置
5 (2) ③災害時も含めた小地域福祉ネットワーク活動の推進
5 (2) ④見守り活動協力者の拡大
5 (2) ⑤地域福祉推進計画づくり
5 (2) ⑥地域課題を我が事ととらえ住民主体で解決に取り組む地域共生社会づくり

5 (3) 災害時にも対応できる市民相互のたすけあいの仕組みをつくろう
5 (4) 権利擁護への取り組みを強化しよう

5 (3) ①避難行動要支援者の情報共有と自主防災組織との連携
5 (4) ①権利擁護制度の周知
5 (4) ②利用対象者の早期発見
5 (4) ③関係機関連絡会議の開催
5 (4) ④市民後見人等の育成や活動支援

5 (5) 福祉活動者（民生委員・児童委員等）が活動しやすい環境をつくろう
5 (6) 買い物困難者・交通弱者に対応できる仕組みをつくろう

5 (5) ①民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくり
5 (6) ①買い物困難者・交通弱者に対応できる仕組みづくりの支援

6 多くの機関・団体・個人の連携を進めていくこと

6 (1) 誰もが気軽に立ち寄れる場所を身近な地域につくろう
6 (2) ご近所福祉スタッフ活動を推進し、地域との連携を強化しよう
6 (3) 個人情報取り扱いについて理解を深めよう
6 (4) 多機関との協働による支援の体制をつくろう

6 (1) ①誰もが気軽に立ち寄れる「地域の拠り所」づくりの支援
6 (2) ①地域の状況を把握し、情報を共有する場づくり
6 (3) ①地域での情報共有の仕組みの整備
6 (4) ①生活困窮など複合的生活課題を抱える世帯を多機関との協働により包括的に支援する体制づくり

7 地域ではどのような福祉ニーズがあるのか常に目を向けていくこと

7 (1) 地域や個人の福祉課題を把握し、必要な支援へつなげていこう

7 (1) ①地域福祉課題の調査
7 (1) ②地域に出向いて生活課題と向き合う専門職の育成と配置

8 地域福祉推進のための運営基盤の強化を進めていくこと

8 (1) 市民参加による地域福祉活動の活性化を図り、共に支え合いながら暮らすための仕組みづくりを推進していこう

8 (1) ①地域福祉推進組織の運営基盤強化の推進
8 (1) ②互いに認め合い、共に支え合いながら暮らすための仕組みづくり
8 (1) ③様々な制度の狭間にある福祉課題を解決するための制度外サービスの取り組み
8 (1) ④地域福祉推進のための財政基盤の整備
8 (1) ⑤地域福祉活動計画の評価機関の設置
8 (1) ⑥地域福祉活動計画の進捗状況・評価結果の公表